

信州小諸方面ニ繁殖セル謂ユル晚霞芹

【牧野云フ、平賀源内ノ『物類品隋』ニ「樓葱一名龍爪葱和名マンネンギ又サンカイネギトモ云救荒本草曰……………ト此物業ノ末ニ根ヲ生ジ又葉ヲ出スコト霸王樹ノ枝ヲ出スガゴトシ甚異品ナリ東都希ニアリ其由テ出ル所未詳壬午主品中予具之」ト出デ又蜀山人太田南畝ノ『一話一言』ニハ「予去年玉川のほとり橘樹村百草村の一農家にて此樓葱を見たり土人に名を問へばカルワザ葱といふと答へしもおかしかりき」としはからずも此名を正す事を得たり讀書の益今にはじめず」ト出テ居ル】

○信州小諸方面ニ繁殖セル謂ユル晚霞芹

高 橋 貞 吉

信州小諸地方ニテハ晚霞芹トシテ人ニ能ク知ラレテ居ル水中ノ植物ガアル植物圖鑑ニアルおらんだがらしノコトニテ内外植物誌ニハおらんだみづたがらし、矢田部博士ノ日本植物編デハみづがらしノ名デ書カレテアル *Nasturtium officinale* R. Br. デアルおらんだがらし(本誌三ノ三口繪參照)ハ十字科ノ最モ普通ナル植物ニテ歐羅巴原産ノ多年生草本デアル溝瀆濕地淺水ニ生ジ莖高サ一二尺ニ達シ稍傾臥シテ下部ノ節ニ根ヲ生ズ葉ハ平滑奇數羽狀複葉ニテ小葉ハ卵形橢圓形或ハ長橢圓形ニテ縁邊波樣ヲナス春夏ノ候梢上ニ短キ總狀花序ヲナシテ白色四瓣ノ花ヲ開キ花中ニ四強雄藥ヲ有シ花後稍短大ナル線形ノ長角ヲ生ズ

コノ植物ハ元來明治ノ初年ニ外國ヨリ我邦ニ渡來セシモノデアル、比類ナキ繁殖旺盛ナ草デアル上ニ之レヲ使フ西洋料理屋ガ方々ニ出來シ其處デ捨テタ莖ノ一部カラ芽ヲ出シテ繁殖シ間モナク我邦諸州ニヒロマリ遂ニ現時デハ思ヒモ付カヌ山中深クマデモ繁茂シテ居リ時々意外ナ處デ之レニ出會ヒ驚クコトガアル、此草ハ僅カ莖ノ一片サヘアレバソレガ水中デ早速ニ芽ヲ吹キ根ヲ出シ繁殖ノ基ヲナスモノデアル從テ各地ニ擴ガルニハ誠ニ世話ノナイ植物デアル

余ハ最近偶然丸山晚霞氏ノ書室ヲ訪フテ談偶マコノ事ニ及ブト晚霞氏ノ談ニ千九百二年(明治三十六年)晚霞氏亞米利加合衆國游學ノ際ワシントンノ郊外アナカストニアニテ校長メツサー氏ノ邸内ノ清水ニ澤山繁茂セルコ

ノ草ヲ見タ毎日午後四時カラ五時頃ノ茶ノ時間ニ紅茶珈琲ヲ飲ミ燒キ麵麴ヲ食スル際コノ嫩キ葉莖ヲ東トナシ
 之ニ鹽ヲ附ケテ生食スルコトガ折々アツタ辛味ハアルガ頗ル美味ニ感ジタカラ千九百三年歸朝ノ際種ヲ携ヘテ
 來テ長野縣小縣郡根津村ノ邸ノ畑ニ之ヲ蒔キシガ發芽ノ後多ク枯レタルガ三株程僅ニ殘リシモノヲ水中ニ投入
 シタルニ忽チ繁茂シテ多數生長シタ當時自分ノ家ニ能ク出入シタル畫家小山周次氏ニ依頼シテ東方小諸町ニ至
 ル三里位ノ地方ノ水中處々ニ二三本宛移植シタ西方上田市地方ニ至ル又三里位ノ處ニハ畫家松山忠三氏ヲシテ
 同様之ヲ移植セシメタコレゾ今日北佐久郡小縣郡各地ノ水中到ル處之ヲ見ザル處ナキ迄ニ繁殖シタ源デアル小
 諸地方ニテハソレニ因ナミ丸山晚霞氏ノ名ヲ取ツテ晚霞芹ト名ヅケタノデアル

今日小諸地方ノ河トイフ河、水トイフ水皆おらんだがらしヲ見ザルナク嘗テ余ハ小諸町カラ蛇堀ノ溪流ヲ逆ッ
 テ淺間山ニ登ラントシ溪流中ヲ進ミシニおらんだがらし繁殖セシタメ非常ニ水流ヲ寒冷ナラシメ到底此處ヲ進
 ムコトガ出來ナイデ餘儀ナクコノ計畫ヲ中止シメノデアツタ、小諸ヨリ二里ヲ離レテ眞樂寺沼ガアルコノ沼モ
 全池大半おらんだがらしヲ以テ埋メラレテ居リ昨今ハ千曲川ノ沿岸ニモ非常ニ擴ガリツツアル、コノ草ハ生食
 シテモ浸シモノトシテモつまシテモ面白キ食用植物デ殊ニ清水ニ生ジ四時常ニ用ウルコトガ出來ルノデア
 本種繁殖ノ盛シナルハ實ニ余ガ知レル範圍ノ歸化植物デハひめじよをん、鐵道草、のぼろぎく等ノ菊科植物ニ
 髣髴トシテ居ル、同ジ十字科ノ歸化植物ニくぢらぐさトテ小諸地方ニモ澤山繁殖シ草木圖說ニモ記載アル程古
 キ渡來植物ガアルガ到底繁殖ノ狀態ハおらんだがらしニ及バナイ、コレハくぢらぐさハ種子ノミニテ繁殖シお
 らんだがらしハ莖葉ニテモ繁殖スルカラ此ニコノ差違ヲ生ジタワケデモアラウカ

長野縣北信地方ノおらんだがらし繁殖ノ狀況ト時代トハ前述ノ通りデアアルガ僅々二十四五星霜ノ間ニコノ分布
 ヲ見タノハ正ニ驚嘆スベキ次第デアアルガ他地方ニモ恐ラク同様ノ事ガアラウト思フ、歸化植物其他植物分布ノ
 狀態ヲ研究スルニコンナ歴史的ノ話モ面白イ事ト思フテ僅カバカリ書イテ見タ次第デアアル